

力を合わせてリサイクル



© 鹿児島県ぐりぶー・さくら

げんざい、未来のすべての人たちへ

「ううっ、暑い、暑すぎる。」

今年の夏も、もう暑が続いています。毎年どんどん暑くなり、このままで
は地球がふっとうしてしまいそうです。それを防ぐために、私は、多くの人
が環境のことを考え、燃やせるものでも安易に燃やさずにリサイクルしてほ
しいと思います。そうすれば、資源を生かし、CO₂の量を減らすことができ
ます。そこで、私が大崎町で学んだことが役に立つと思います。

私の住んでいる大崎町は、「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉に一
人一人が分別しています。リサイクル率80%以上を達成し、全国一位は1
6回。町民はリサイクルをほこりに思い、努力しています。私の祖父は、大
崎町衛生自治会の会長です。衛生自治会は、自分たちでリサイクルを進める
集落組織です。私も、祖父を手伝い、リサイクルに取り組んだことがあります。
家庭で分別後、資源収集袋に入れ、地域公民館へ持っていきます。28
種類に分別するので、出す場所が分からずにまよっている人もいます。その
時、衛生自治会や地域のおじいちゃんおばあちゃんが、自分のことのように
分別の仕方を教えてくれます。そのおかげで、私もだんだん分別が上手にな
りました。だから大崎町では、リサイクルを大変だと思わないのだと実感で

総合的な学習の時間に、大崎町のリサイクルが「大崎システム」として世界から注目されていることを学びました。き業と連けい・技術開発し、使用すみの紙オムツまでリサイクルしています。外国にも技術しえんしています。

リサイクルは、少し大変ですが、みんなで協働すれば、地球環境を守ることができます。このまま地球温暖化や資源不足がひどくなれば、貧困から争いが起こり、人々の幸せや平和がこわれていくかもしれません。今こそ、一人一人が、地球を大切にすることで世界の人たちの心がつながり、平和な未来を実現していきましょう。未来に向けて、世界中の人たちが、どうか力を合わせてリサイクルをしていきましょう。私たちの手で、地球を平和で笑顔あふれる場所にしていきましょう。

大崎町立持留小学校 4年 吉留花香

